

令和7年度第2回岩見沢市総合教育会議 議事録(要旨)

1 日時

令和7年10月27日(月)14:00~

2 場所

岩見沢市役所

3 出席者

「出席者名簿」のとおり

4 議題

- (1) 岩見沢市教育大綱の取組状況について
 - ・重点項目2-1「自尊感情、自己有用感の育成」
岩見沢型ピア・サポートの取組と成果について
- (2) 岩見沢市教育大綱の見直しについて
- (3) その他

○議事概要

1 岩見沢型ピア・サポートの取組と成果について

【市長】

- ・ピア・サポートは、学力の向上とあわせて、注目している事業。成果も出てきている。

【教育委員】

- ・いい取組み。授業に対し、積極的ではない子も発言しやすい環境になっているため、続けていくことが望ましい
- ・今後の成果が期待できる。学校に行きやすい雰囲気を作ることにより、学力にもつながってくる。有意義な取組みと考えている。
- ・子どもたちだけではなく、教員の笑顔も増えたと感じている。いい環境づくりが出来ている様子が見受けられる。

【教育長】

- ・コロナ禍で、子どもたちのコミュニケーションが途絶えていた。特に低学年は、幼少から感染防止第一の環境で育っていて、集団でのコミュニケーション力や支え合うスキルが落ちている。ピア・サポートの取組みを続けていくことが必要。

2 岩見沢市教育大綱の見直しについて

【市長】

- ・教育大綱の期間について、教育を取り巻く環境が大きく変化していることを考えると、10年は長いのではないか。類似団体の事例を参考に5年計画にすることも検討する必要があると考える。

【事務局】

- ・計画期間については検討中の段階である。次期大綱を10年計画とした場合も、5年で中間検証や見直しを実施するなど考えたい。

【教育長】

- ・教育環境は急激なものもある。計画期間は5年程度が良いと思う。